

家庭学習の手引き

保存版

京都市立池田東小学校

家庭学習

小学校の学習は、将来子ども達が社会人として自立するための基礎となる大切な学習です。そのためには、学習した内容をしっかりと定着させることが大変重要です。また、学校での学習と連携した家庭学習が必要になります。学校で学習したことをより確かにして、自ら学ぶ姿勢を養うために、毎日しっかりと家庭学習に取り組むことが大切です。

子ども達のやる気を引き出し、学力を高めるためには、学習習慣の定着が欠かせません。家庭でのご理解ご協力をお願いします。

家庭学習の取り組み方

1.【基本的な生活習慣の確立】

早寝早起き朝ごはん・朝の排便など規則正しい生活が大切です。

2.【家庭学習の習慣化】

毎日続けることが大切です。習い事や家庭の都合で予定どおりできない時もありますが、できるだけ時間を決めて取り組むことが習慣化につながります。

3.【家庭学習を行う環境】

落ち着いた環境で集中して取り組むことが大切です。テレビを見ながら、音楽を聞きながらでは、集中した効果的な学習とは言えません。

4.【家庭学習時間のめやす】

各学年の発達段階を考えると、以下の時間が一つの目安として、適当と考えます。

低学年 15～30分 中学年 45～60分 高学年 75～90分

継続は力なり

「継続は力なり」ということばがあります。小さなことでもコツコツと積み重ねることで、大きな力につながります。一つの目標が達成できたらほめたり家族で喜んだりすることが大きな励みとなり、続けようというやる気につながっていきます。

各学年の取組

◎1年生

毎日の宿題を確実にやりきることによって、家庭学習の習慣づけをする時期です。ご家庭からの声かけによって継続して取り組めるようになる大切な時期です。

少しの成果でもしっかりほめる事が大切です。

◎2年生

毎日の宿題を確実にやりきることによって、家庭学習の習慣をより確かなものにする時期です。この時期も家庭からの声かけによって意欲を持って取り組めるようになります。ほめたり励ましたりする声かけが大切です。

◎3年生

毎日の宿題に確実に取り組むことによって、学習内容の定着を確かなものにしていきます。また、自分が間違えたところや分からなかったところをノートにもう一度やってみるという学習に取り組める時期です。

まだまだ声かけも必要です。

◎4年生

毎日の宿題に確実に取り組むことによって、学習内容の定着を確かなものにしていきます。プリントやテストで間違えたところをノートにやり直したり、簡単な復習をしたりと宿題以外の学習にも取り組み始める時期です。点検確認をお願いします。

◎5年生

毎日の宿題と、その日の学習内容をもう一度家庭学習用のノートにまとめるなどの復習に取り組むことによって、学習内容の定着を確実にし、学習をさらに進めていくことができます。

プリントやテストで間違えたところや分からなかったところを、もう一度ノートにやってみる習慣を身に付けることが大切になります。確実に復習を習慣化する時期です。学習に集中できる環境を整えてください。

◎6年生

毎日の宿題や予習・復習を確実に取り組むことによって、学習内容の定着を確かなものにし、意欲を持ってさらに学習を進めていくことができます。家庭学習の習慣を着実に定着させる時期です。

プリントやテストで間違えたところや分からなかったところを、もう一度ノートにやってみて、自分のできなかったところを知り、次回に生かせるようにしておくことが大切になります。できるだけ、子どもの自主性を尊重してください。

小学校1.2年生

こんな時期です

学習時間のめやす

15~30分

育ちや学びの特徴

- いろいろなことに興味・関心をもち、何でも知りたがります。さまざまな体験を通して感受性が豊かになります。
- 「早寝早起き」「しっかり朝食をとる」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」などの基本的な生活習慣を身につけることが、学習習慣の確立につながります。
- 一人で学習の内容や方法を決めることはまだ無理です。家族の手助けが欠かせません。
- 「やったね!」「よくできたね!」まわりのほめ言葉が、子どもたちの意欲を生み出します。

学習内容の特色（学校で）

- 「鉛筆を正しくもつ」「明日の学習準備をする」「整理整頓をする」といった、基本的な学習習慣を確立していきます。
- 「読み、書き、計算」など、基礎的・基本的な学習が始まります。
- 繰り返し練習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。
- 教科ごとの授業が基本です。先生の話をしっかり聞いて学習します。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりします。

自学自習のつぼ! 3 か条

その1 最後までやり終える!

「宿題は最後までやること」を守らせましょう。最後まで出来たかどうかを必ず家族の目で点検しましょう。テレビやゲームも、時間のけじめをきちんと守らせましょう。根負けせずに、ねばり強く働きかけることが大切です。

その2 子どもにも家族の役割分担を!

家庭で、子どもにもできる仕事を見つけてください。家族の一員としての役割を体験させることで、自分にできることを考え、行動する姿勢が育ちます。学年が上がるにつれてこうした家事の分担の範囲を広げていきましょう。

その3 家族ぐるみでよりよい学習習慣を!

大人が、お手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。家族ぐるみでよりよい学習習慣づくりに努めることが大切です。読書はとても効果的です。また、会話を単語ではすまさないことなどを、日常生活の中で意識し、実践することがとても大切です。

ワンポイントアドバイス

【小学校1・2年生の学び方】

～家庭学習を始める前に～

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓をしましょう。
- 今日の宿題を一緒に確かめましょう。
- 正しい姿勢で座らせましょう。
- 鉛筆の正しい持ち方を教えましょう。

<学習にあたって>

宿題をやり終えるようになれば、まず大丈夫!家族のほめ言葉が学習意欲を生み出します。

<日記>

楽しかったことやうれしかったことなどを、素直に自分の言葉で書くようアドバイスしましょう。

<音 読 >

- 楽しんで、すらすら読めるように毎日練習しましょう。
- 句読点に気をつけて、大きな声ではっきりと読みましょう。

<漢 字>

- 書き順に気をつけて、丁寧にゆっくり書きましょう。

<読 書>

- 子どもにあった本をまわりにおきましょう。読み聞かせをするのもいいですね。

<計 算>

- 速さを競わずに、楽しみながら計算に慣れていきましょう。正しくできるようになれば、少しずつスピードを上げて練習しましょう。
- 間違った問題は、必ずもう一度やり直す習慣をつけましょう。正しい計算手順が確実に身につくように、ときには、手順を唱えながら練習しましょう。

<生活科>

- 休みの日には、山や川、動物園や植物園などに出かけ、本物の動植物にふれましょう。家でも生き物を育ててみましょう。
- 「みやこ子ども土曜塾」などの情報誌を参考に、京都市青少年科学センターや図書館などに出かけましょう。

小学校3.4年生

こんな時期です

学習時間のめやす

45～60分

育ちや学びの特徴

- 好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- 自立心が芽生え、目標に向かって計画を立て、自分で挑戦するようになります。
- まわりの人のことを考え、協調して行動します。
- 家族の温かい助言や励ましの言葉が、やる気を起こさせ、自ら机に向かう姿勢を育てます。

学習内容の特色（学校で）

- 「総合的な学習の時間」や「社会科」「理科」の学習が始まり、学習範囲も大きく広がります。
- 資料集や地図帳、辞典などを使い、調べ学習をすることが多くなります。
- 新しい漢字を、たくさん習います。（3・4年生とも200字ずつ）
- 算数科では分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。
- 四則計算（+、-、×、÷）の基礎・基本を徹底して学びます。

自学自習のつぼ! 3 か条

その1 宿題以外の学習にも挑戦!

宿題だけでなく復習などの自主的な学習にも積極的に取り組ませ、家庭学習のレベルアップを図っていきましょう。

そのためにも、身のまわりの自然や社会の出来事にも関心が持てるように働きかけましょう。京都市青少年科学センターや博物館などを活用してもいいですね。

その2 テレビやゲームは、時間を決めて!

テレビやゲームに夢中になって、遊ぶ時間がだらだらと長くなることがあります。はじめをつけさせることが、自律心や学習への集中力を育てることになります。根気強くアドバイスし続けましょう。また、親の姿勢も大切になってきます。

その3 ほかに子どもと比べず、「がんばり」をほめる!

学習に少しずつ個人差が出てくる頃です。友だちや兄弟・姉妹と成長を比べることは避けて、「がんばり」を見のがさずに、積極的にほめましょう。

3年生からプレジョイントプログラムが始まります。

ワンポイントアドバイス

【小学校3・4年生の学び方】

～家庭学習を始める前に～

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓をしましょう。
- 学校からのプリント類を親に手渡す習慣をつけさせましょう。
- 今日の宿題を自分で確かめさせましょう。

<学習にあたって>

- 学校で習ったことを中心に、集中して最後まで粘り強く取り組む力をつけましょう。

<日記>

- 様子がよく分かるように、会話をに入れて詳しく書くようにしましょう。書いた文を読み直す習慣もつけましょう。

<音 読>

- 毎日一回は声に出して読みましょう。会話文は、登場人物の気持ちを考えて読みましょう。

<漢 字>

- 学校の漢字ドリルなどを活用して、繰り返し丁寧に練習しましょう。
- 正しい筆順で「はね、はらい、とめ」に気をつけて書きましょう。
- 国語辞典や漢字事典を活用しましょう。

<読 書>

- いろいろな種類の本を選んで読みましょう。家庭で「読書タイム」をつくり、家族全員で本に親しみましょう。

<計 算>

- 計算手順が正しく身につくよう、毎日少しずつでも計算をしましょう。
- 筆算は位をそろえて書き、手順を確かめながら計算しましょう。
- 手順が多い計算も、集中して一つずつ順番に計算していきましょう。

小学校5.6年生

こんな時期です

学習時間のめやす

75~90分

育ちや学びの特徴

- 自分の役割に対して、責任を持って取り組みます。
- 小学校の学習のまとめをして、中学校につながる大切な学年です。
- 先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。
- 予定を立て、見通しを持って自力で学習を進めます。
- 自分の将来の夢を思い描くようになります。

学習内容の特色（学校で）

- 筋道立てて考える論理的な内容の学習や抽象的な内容の学習が増えてきます。
- 自分で課題を見つけ、解決していく学習（問題解決的な学習）が多くなります。
- 自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験させ「学び方」や「ものの考え方」を育てます。
- 対話を中心とした協働学習の中で、自分の考えや思いを広げたり深めたりします。
- 学習内容が多くなり、社会や世界に目を向けた学習もします。
- 「家庭科」や「外国語」の学習が始まります。

自学自習のつぼ！3か条

その1 予定を立て、計画的な学習を！

自主学習の予定を立て、見通しをもって学習しましょう。復習はもちろん、時間に余裕があるときは、予習にも取り組んでみましょう。必ず学習するといった時間帯を設定すると、継続して学習に向かいやすくなります。

その2 今一度、基本的な生活習慣の見直しを！

「早寝早起き、夜更かしをしない」「テレビやゲームの時間を決める」など、中学校生活に向けて、今一度生活習慣を見直しましょう。SNSの使い方についても、家庭で話し合ってみましょう。

その3 「急がば回れ」の気持ちで！

問題に取り組んでいて分からない時は、分かるところまで戻ってやり直すとともに、間違ったところは必ず見直すことが大切です。これは中学校の学習スタイルにつながります。

ワンポイントアドバイス

【小学校5・6年生の学び方】

～家庭学習を始める前に～

- 学習前に、勉強する場所の整理 整頓をしましょう。
- 学校からのプリント類を親に手渡す習慣をつけましょう。
- 宿題を自分で確かめ、やる順番を決めましょう。

<学習にあたって>

- 学校での学習をふり返りながら、教科書やノートを参考にして、苦手な内容もねばり強く取り組むようにしましょう。

<日記>

- 自分の考えや思いを、筋道を立てて、整理しながら書くようにしましょう。

<音 読>

- 間を取りながら読むなど、自分のめあてを決めて練習しましょう。
- 詩や俳句、短歌などを暗唱したり、朗読したりしましょう。
- 他の教科の教科書も音読しましょう。重要な用語や内容の理解が深まります。

<漢 字>

- 漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。
- 習った漢字を使って、熟語や短文を作りましょう。

<読 書>

- 家族や友人と読んだ本の感想を語り合い、いろいろな感じ方、考え方にふれましょう。

<計 算>

- よく間違える計算は、繰り返し練習しましょう。
- 答えの確かめを、自分でできるようになりましょう。
- 5年生からは、ジョイントプログラムテストがあります。テスト前に配られるおさらいプリントでテストに向けて計画的に学習を進めましょう。

かていがくしゅうのてびき

池田東小学校 1年

やくそく

- ☆ きまったじかんにしましょう。
- ☆ テレビをけきましょう。

べんきょうじかん

15ふん～30ふん

しゅくだい

- ☆ おんどく(こえを出して よみましょう)
- ☆ こくご(ひらがな,カタカナ,かん字のれんしゅうなど)
- ☆ さんすう(プリント,ドリルなど)



1年生ではこんなことができるようになるう

- 大きなこえで、本がよめる。
- ひらがな,カタカナがよめる,かける。
- ならったかん字がよめる,かける。
- えんぴつを正しくもって字がかける。
- じゅんじょよくはなせる,かける。
- 「て」「に」「を」「は」を正しくつかってぶんがかける。
- たしざん,ひきざんが正しくできる。



しゅくだいのほかにもこんなことをしてみよう

- あした,学校でべんきょうするところを見る。(きょうかしよ)
- どくしよをする。(よんでもらう)
- きょうかしよをうつす。(ひらがなやカタカナのれんしゅうをする)
- けいさん,かん字などのれんしゅうをする。
- えにつきや,につきをかく。
- じてんや,ずかんでしらべる。
- いきものや,くさばなをかんさつする。
- とけいをみてじかんをいう。
- いえの手つだいをする。



- ①おたよりをかぞくのひとに見せましたか。
- ②しゅくだいは,おわりましたか。
- ③あしたのじかんわりをそろえましたか。

家庭学習の手引き

池田東小学校 2年

やくそく

- ☆ きまった時間にしましょう。
- ☆ テレビをけきましょう。

べんきょう時間

15～30分

しゅくだい

- ☆ 本読み(声を出して 読みましょう)
- ☆ 国語(かん字のれんしゅうなど。よく見て、正しい書きじゅんでれんしゅう)
- ☆ さん数(プリント・ドリル・教科書など)

2年生ではこんなことができるようになるう

- 大きな声で、本が読める。
- 「、」や「。」に気をつけてすらすら読める。
- ならったかん字を正しく読める、書ける。
- じゅんじょよく話せる、書ける。
- たし算、ひき算が正しくできる。
- 九九がすらすらいえる。(こうき)
- じょうぎをつかってじょうずに線が引ける。
- きめられた長さの直線がひける。



しゅくだいのほかにもこんなことをしてみよう

- あした学校で勉強するところを見る。(教科書)
- 読書をする。(読んでもらう、昔話もいいですね。)
- 教科書をうつす。
- ひっ算などのプリントをする。
- かけ算九九をおぼえる。(こうき)
- △や□をしらべる。
- 日記を書く。
- じてんや図鑑でしらべる。
- 生きものや草花をかんさつする。
- 家の手伝いをする。



- ①おたよりをかぞくのひとに見せましたか。
- ②しゅくだいは、おわりましたか。
- ③あしたのじかんわりをそろえましたか。

家庭学習の手引き

池田東小学校 3年

約束

- ☆ 毎日、決めた時間に机に向かいましょう。
- ☆ 1日の家庭学習の時間を決めましょう。
- ☆ テレビや音楽を消して勉強しましょう。

勉強時間

45～60分

宿題

- ☆ 国語(音読、漢字ドリル、プリントなど)
- ☆ 算数(計算ドリル、プリント、教科書など)
- ☆ 自主学习(習ったことのふく習、きょうみがあることの調べ学習など)

3年生ではこんなことができるようになるよう

- 音読がしゅうかんになる。(気持ちをこめて読む)
- 習った漢字が読める、書ける。
- 国語じてんを正しく使える。
- 主語と述語がわかって文を書くことができる。
- わり算ができる。コンパスを正しく使うことができる。
- はかりを使って重さがよめる。
- いろいろな三角形のちがいが分かる。
- 地図の見方と地図記号がわかる。
- ローマ字が読める。



宿題のほかにこんなことをしてみよう

- 明日、学校で勉強するところを読む。
- 読書をする。(詩やはいくなども読んでみましょう。)
- 教科書をよく見て写す。
- 作文や日記を書く。
- じてんや図かんで調べる。
- いろいろな図形をかく。
- まちがった問題や分からなかった問題をやり直す。
- 生き物や草花を観察する。
- 家の手伝いをする。



- ①おたよりを家族の人に見せましたか。
- ②宿題は、終わりましたか。
- ③明日の時間わりをそろえましたか。
- ④もう一度 たしかめましょう。

家庭学習の手引き

池田東小学校 4年

約束

- ☆ 毎日、決めた時間に机に向かいましょう。
- ☆ 1日の家庭学習の時間を決めましょう。
- ☆ テレビや音楽を消して勉強しましょう。

勉強時間

45～60分

宿題

- ☆ 国語（音読、漢字ドリル、プリントなど）
- ☆ 算数（計算ドリル、プリント、教科書など）
- ☆ 自主学习（習ったことのふく習、きょうみがあることの調べ学習など）

4年生ではこんなことができるようになるろう

- 音読の習慣が身につく。気持ちをこめて読む。
- 習った漢字を読める、書ける。
- 国語じてん、漢字じてんを正しく使える。
- 短い詩やことわざをおぼえる。
- ことばのつながりを考えて文章を書くことができる。
- わり算の筆算ができる。
- 分度器を正しく使うことができる。
- 小数を理解し、計算ができる。
- 図形の面積を工夫して求めることができる。
- 47都道府県の名前と位置が分かる。
- パソコンをつかって必要な情報を見つけることができる。



宿題のほかにもこんなことをしてみよう

- 明日、学校で勉強するところを予習する。
- 読書をする。（はいくなども読んでみましょう。）
- 教科書をよく見て写す。 ○百人一首や詩をあんしょうする。
- 作文や日記を書く。 ○読書の感想を書く。
- じてんや図かんで調べる。 ○学校で習ったことの復習をする。
- いろいろな図形をかく。 ○いろいろなドリルに取り組む。
- まちがった問題や分からなかった問題をやり直してたしかなものにする。
- 生き物や植物を観察する。 ○家の手伝いをする。



- ① お便りを家族の人に見せましたか。
- ② 宿題は、終わりましたか。
- ③ 明日の時間わりをそろえましたか。
- ④ もう一度 たしかめましょう。

家庭学習の手引き

池田東小学校 5年

約束

- ☆ 毎日、決めた時間に机に向かいましょう。
- ☆ 1日の家庭学習の時間を決めましょう。
- ☆ テレビや音楽を消して勉強しましょう。

勉強時間

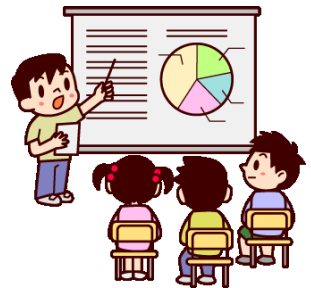
75~90分

宿題

- ☆ 国語(音読, 漢字ドリル, プリントなど)
- ☆ 算数(計算ドリル, プリント, 教科書など)
- ☆ 自主学習(習ったことのふく習, 明日の予習, きょうみがあることの調べ学習など)

5年生ではこんなことができるようになろう

- 音読の習慣が身につく。気持ちをこめ、間を考えて読む。
- 学習した漢字・熟語の読み書きができる。
- 古典を読むことができる。
- 国語辞典、漢字字典を使って調べることができる。
- 日記を書いたり、調べたことを文章にまとめたりできる。
- 分数の足し算・引き算ができる。
- 割合、百分率を使った問題を解くことができる。
- 小数のかけ算・わり算ができる。○気候にあった生活の工夫が分かる。
- 日本のつながりの深い国の名前と位置が分かる。
- パソコンを使って必要な情報を見つけ利用することができる。(GIGA 端末の利用)



宿題のほかにこんなことをしてみよう

- 明日、学校で勉強するところを予習する。
- 読書をする。(漢詩などを音読してみよう。)
- 教科書をよく見て写す。 ○百人一首や詩をあんしょうする。
- 作文や日記を書く。 ○読書の感想を書く。
- じてんや図かんで調べる。 ○学校で習ったことの復習をする。
- いろいろなドリルに取り組む。
- まちがった問題や分からなかった問題をやり直してたしかなものにする。
- ニュースや新聞を見て内容を文章にまとめる。
- 生き物や植物を観察する。 ○家の手伝いをする。



- ①お便りを保護者の人に見せましたか。
- ②宿題は、終わりましたか。
- ③明日の時間割りをそろえましたか。
- ④もう一度 確かめましょう。

家庭学習の手引き

池田東小学校 6年

約束

- ☆ 毎日、決めた時間に机に向かいましょう。
- ☆ 1日の家庭学習の時間を決めましょう。
- ☆ テレビや音楽を消して勉強しましょう。

勉強時間

75~90分

宿題

- ☆ 国語(音読, 漢字ドリル, プリントなど)
- ☆ 算数(計算ドリル, プリント, 教科書など)
- ☆ 自主学习(習ったことの復習, 明日の予習, きょうみがあることの調べ学習など)

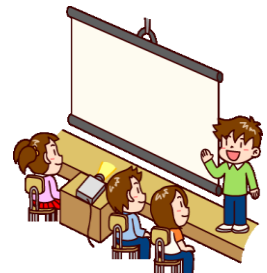
6年生ではこんなことができるようになるう

- 学習した漢字・熟語の読み書きができる。
- 国語辞典, 漢字字典を使って調べることができる。
- 日記を書いたり, 調べたことを文章にまとめたりできる。
- 古文を読むことができる。○分数の四則計算ができる。
- いろいろな図形の面積や体積を求めることができる。
- メートル法の仕組みを理解したり, 速さを求めたりすることができる。
- 比例や反比例の関係, 資料の平均・度数分布を表す表やグラフが理解できる。
- 歴史上の人物や出来事について調べたり, 説明したりできる。
- 理科の実験から, 分かったことをまとめたり, 説明したりできる。
- パソコンを使って必要な情報を取り出し, 様々な活用ができる。(GIGA 端末の利用)



宿題のほかにこんなことをしてみよう

- 明日, 学校で勉強するところを予習する。
- 読書をする。(漢文などを音読してみましょう。)
- 教科書をよく見て写す。 ○百人一首や詩をあんしょうする。
- 作文や日記を書く。 ○読書の感想を書く。
- じてんや図かんで調べる。 ○学校で習ったことの復習をする。
- いろいろなドリルをやってみる。○生き物や植物を観察する。
- まちがった問題や分からなかった問題をやり直して確かなものにする。
- ニュースや新聞を見て内容を文章にまとめる。
- 家の手伝いをする。料理を手伝ったり, 小物やもの周りの簡単なものを作ったりする。



- ①お便りを保護者の人に見せましたか。
- ②宿題は, 終わりましたか。
- ③明日の時間割りをそろえましたか。
- ④もう一度 確かめましょう。

学習のきほん

学習のとき

① 学習に必要な持ち物

まいにち がくしゅう ひつよう もちもの わすれず じゅんび
毎日の学習に必要な持ち物は、忘れずに準備をしましょう。

- 教科書 ノート 下じき ふでばこ

はこがた のぞ
(箱形のものが望ましい。また、キーホルダーなどの装飾品をつけない。)

<ふで箱の中に入れておくもの>

- 鉛筆5~6本(華美でないもので、前日準備でしっかりと削っておくこと)
- 消しゴム1個(華美でなく、よく消えるもの), 赤鉛筆1本, 青鉛筆1本
- 定規1本, マイネーム1本, (学年に応じて)赤, 青以外の色鉛筆1本
- (学年に応じて)三角定規, 分度器

ノートの使い方

ノートと筆記用具

○ノートのサイズ、マス目の大きさ、罫線の広さは、学年にあったものを使います。

○なくなりそうな時は、家の人に早いうちにつたえておきましょう。

ノートに書くとき

○黒板の板書をノートに書き写し、復習ができるようにします。

(黒板)

(ノート)

本時のめあてを書く



①で書き始め赤で囲む。

本時のまとめを書く



②で書き始め自分のことばで、

学習でわかったことをまとめる。

本時のふりかえりを書く



③で書き始め青で囲む。